

環境活動レポート



刈鋸工業 株式会社

実施期間 2015年1月～2015年12月

作成日 2016年2月

〒473-0917

愛知県豊田市若林西町広崎35番地

TEL : (0565) 52-3824

FAX : (0565) 52-3839

URL: <http://kariban.co.jp/>

目次

1	組織の概要	3	ページ
2	対象範囲	4	ページ
3	環境方針	5	ページ
4	環境目標	6	ページ
5	環境活動計画	7	ページ
6	環境目標の実績 環境活動取組（写真）	8	ページ
7	環境活動計画の取組結果と その計画、次年度の取組内容	13	ページ
8	環境関連法規等の遵守状況の確認及び 評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	14	ページ
9	代表者による全体評価と見直しの結果	15	ページ

1. 組織の概要

・事業者名	刈鋌工業株式会社
・代表者	代表取締役 江原 功一
・所在地	愛知県豊田市若林西町広崎35番地
・法人設立	1949年6月
・敷地面積	10,450平方メートル
・延床面積	10,770平方メートル
・資本金	4,700万円
・従業員数（2015年1月現在）	役員 4人 従業員 97人 派遣社員 57人
・売上高	2015年3月 35億8600万円 2014年3月 37億6600万円 2013年3月 35億9700万円
・環境管理責任者	取締役副社長 江原 圭亮
・担当者連絡先	環境活動事務局 江原 悠司 (0565-52-3824)

2. 事業内容

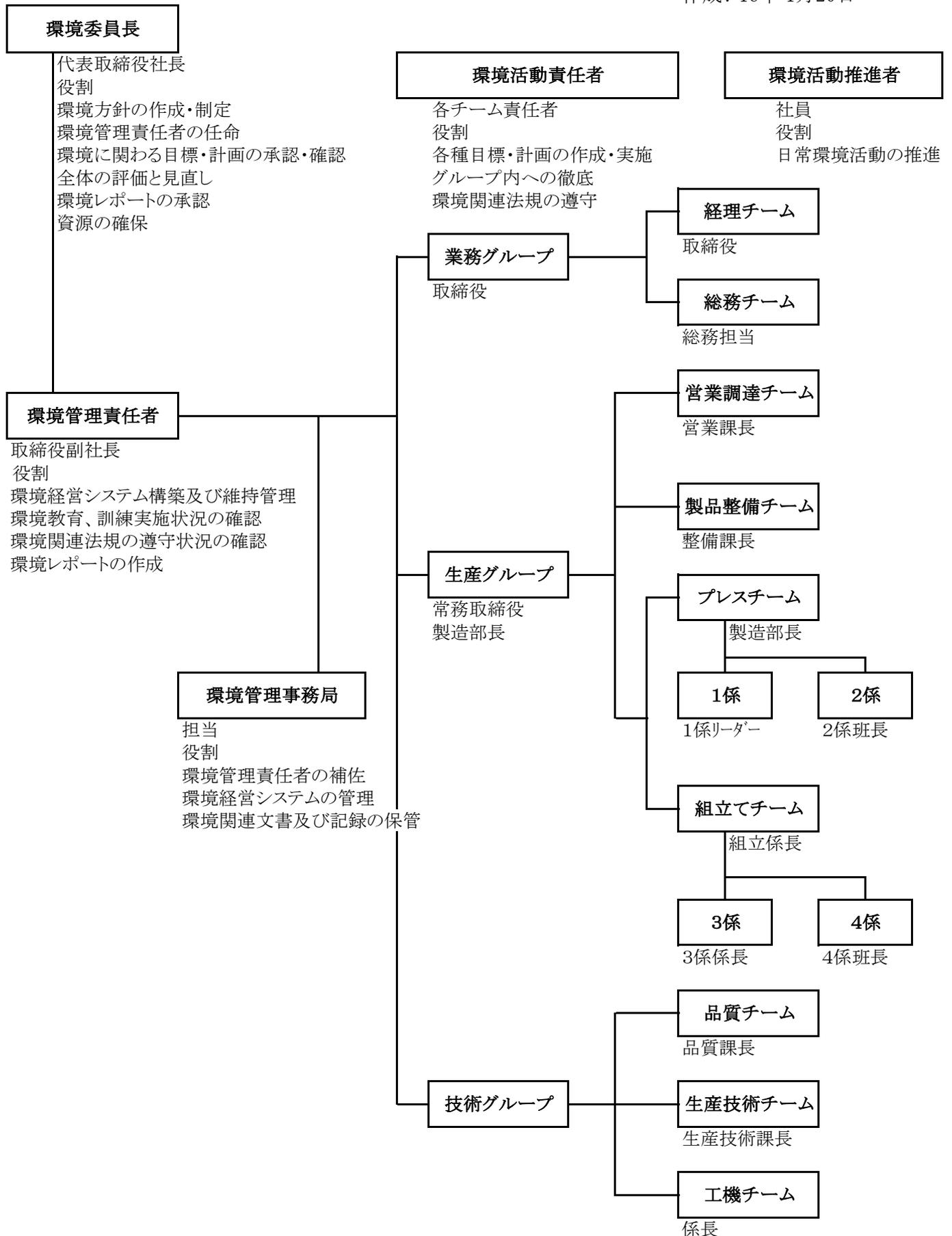
- ・自動車部品製造（車体系機能部品）
- ・プレス、溶接、組立加工
- ・プレス金型、治工具の製造

3. 主要取引先

- ・アイシン精機株式会社

2. 対象範囲

刈鉾工業株式会社
作成: '16年 1月20日



従業員数

正社員93名 パート8名 派遣53名 合計158名

環境方針

環境理念

当社は、自動車部品のプレス・組付製造を主とする企業として、環境にやさしい取り組みを行い、美しく豊かな自然環境を次世代へ引き継ぐ為、全社一丸となって、環境保全活動を積極的に推進する。

活動方針

1. 当社の環境理念に基づき、環境マネジメントシステム(EMS)を構築し、計画的な実施と見直しにより継続的改善を行う。
2. 当社に適用される法規制、その他要求事項を遵守し、もしくは自主規制を設け環境汚染の予防活動に努める。
3. 次に掲げる事項において活動計画を定め、実行する。
 - ①省エネルギー活動を推進し、Co2排出量を削減する。
 - ②産業廃棄物の削減とリサイクル活動の積極推進。
 - ③グリーン購入の推進。
 - ④化学物質使用量の削減。
 - ⑤不良品を削減し、品質目標を向上させる。
 - ⑥環境教育・啓蒙活動を行い、社員が環境を大切にせる企業を目指す。
 - ⑦地域とコミュニケーションを図り、地域の範となる環境保全活動を行う。

この環境方針は社内へ周知すると共に広く一般にも公開する。

平成23年2月10日 策定

平成27年6月 1日 改定

刈鋌工業株式会社

環境委員長

代表取締役

江原 功一

5. 環境活動計画

全社にて取り組む計画と各係において目標を立て実施する計画を立て活動

購入電力の削減について

空調の温度設定管理

休憩時間の消灯管理

工場圧縮空気の漏れ確認・修理

省エネタイプ設備への移行

デマンド装置の設置

化石燃料の削減について

ガソリン、軽油使用量の管理

灯油使用量の管理

水使用量の削減について

品質不良の低減について

排出物の低減について

鉄スクラップの低減

廃棄物の低減について

一般廃棄物

産業廃棄物

購入資材の削減について

鋼材使用量の削減

部品使用量の削減

副資材の削減

化学物質の使用量の削減

紙資源の再利用の促進について

コピー紙使用量の削減

帳票紙使用量の削減

グリーン調達の推進について

各係毎冷暖房設定温度チェックリスト記入

各係毎休憩時の消灯

各別活動計画表にて管理

設備導入時

時間ごとの電気使用量の把握

アイドリングストップの周知

エコドライブの推進

ストーブのつけっぱなしをなくす

灯油使用量管理表への記入

節水の周知

漏れの確認を定期的に行なう

使用量の把握

朝ミーティング活動

週一会議の実施

不良廃却の低減

ゴミ分別表の配布による分別の周知

分別専用ゴミ箱の設置

廃棄物排出量管理表への記入

分別の周知

使い切る努力、再利用の推進

品質活動によるロスの低減

品質活動によるロスの低減

使用量の把握

適正使用量の管理

メールの利用等、文書の電子化の推進

裏紙使用の周知

使用量の把握

新規購入品の確認

一覧表にて確認

6. 環境目標の実績

環境目標	単位	取り組み内容	2014年実績	2015年実績	昨年実績対比	目標達成	実施状況の評価
総生産数			11,482万個	10,767万個	前年比6.2%減	—	(生産数指数93.8%)
エネルギー使用量の低減					前年実績対比		
購入電力の削減 現状維持の続行 新たな削減案を探す	kWh	休憩時の消灯 冷暖房の温度管理	1,193,156 1万個当 103.91kWh	1,123,461 1万個当 104.34kWh	(5.8%減) 前年比0.4%増	—	前年より生産数が6%減った割には購入電力量の低減が出来なかったが順調と判断できた
CO2排出量の低減 現状維持の続行	kg/co ₂	エアー洩れの確認と修理 デマンド監視装置の設置 節電意識の向上	593,199 1万個当 51.66kg-CO ₂	558,602 1万個当 51.88kg-CO ₂	前年比0.4%増	○	購入電力と同様
ガソリン・軽油使用量 現状維持の続行	L	アイドリングストップの推進 エコ運転の奨励	8,278	7,964 生産数実績では(2.6%増)	前年比3.8%減	○	品質不良の低減により車の使用回数が減少した
灯油使用量 現状維持の続行	L	つけっ放しにしない こまめに点火消灯の実施	3,301	2,984	前年比9.6%減	—	服装で調節するなど、使用者に意識の変化があった
水使用量 現状維持の続行	m ³	水を流しっぱなしにしない 洩れの確認を定期的に行なう	7,154	4,697	前年比34.3%減	○	5月に防火水槽を修理し濾水がほぼなくなった
品質不良の低減 14年比10%の削減	件数	異常発生件数の削減	294	187	前年比36.3%減	○	品質活動の成果が目に見えて出て来た
廃棄物の低減							
鉄スクラップ 品質不良の低減	t	使い切る努力、再利用の推進	5,250.85	5,041.23 生産数実績では(2.4%増)	前年比4%減	—	不良の早期発見がスクラップ量をより低減する鍵となる
一般廃棄物 焼却処分 現状維持の続行	t	分別回収の徹底	10.82	11.17 生産数実績では(10.1%増)	前年比3.2%増	—	廃棄物を減らす＝ゴミを溜め込むという意識が見られた 必要ないものは廃棄・リサイクルを積極的にすべき
再資源物 再資源のための分別強化	t	紙回収の徹底	0.88	0.96	前年比9.1%増	—	使用済みの用紙などを可能なだけリサイクルするように継続を
産業廃棄物 再資源物 現状維持の続行	t	使い切る努力、再利用の推進	3.15	10.51	前年比234%増	—	廃棄物を減らす＝ゴミを溜め込むという意識が見られた
埋立処分 再資源のための分別強化	t	使い切る努力、再利用の推進	1.62	1.16	前年比28.4%減	○	分別の徹底が再資源物の増加と埋立処分の低減に一助となったか
購入資材の低減							
鋼材使用量 使用量の管理	t	不良の低減	9,476.61	8,856.28 生産数実績では(0.4%減)	前年比6.5%減	○	鋼材の使用量に比してスクラップ量が伴わない まだ低減の余地がある
部品使用量 使用量の管理	百万円	不良の低減	237.80	298.39 生産数実績では(33.8%増)	前年比25.4%増	—	自社に起因しないムダが発生している
化学物質(PRTR)使用量 使用量の管理	L	正しい使用の徹底 計量使用の徹底	108.36	100.62 生産数実績では(1.0%減)	前年比7.1%減	○	生産量の減少に伴った形となった
総化学物質使用量 使用量の管理	L	正しい使用の徹底	14,863	12,274 生産数実績では(12%減)	前年比17.4%減	○	
コピー紙使用量 使用量の管理	枚数	裏紙使用の徹底	224,000	274,000	前年比22.3%増	—	集計方法の変更があり、今回は参考値となる
帳票紙使用量 使用量の管理	枚数	節約の徹底	70,000	54,000	前年比22.9%減	○	帳票紙が低減した結果、裏紙が足らずコピー紙の使用が増えた
グリーン購入の推進 グリーン購入90%以上		エコマーク商品の購入推進 リサイクル製品の購入推進	グリーン購入比86.7%	グリーン購入比88.5%		×	目標の90%にはわずかに届かなかった

非常事態訓練

2015年6月29日

参加総数 122名

豊田消防署の協力にて火災時の避難訓練と消火器による消火訓練の実施



13時品質事務所裏ホットコーナー付近から出火



避難誘導に従い避難開始



避難指定場所にて点呼 終了13時15分



副社長・消防署員による訓示



消火訓練 消火器の取扱説明



4グループに分け実施

省エネに対する工夫・実績

LED照明の導入

導入から30年以上が経過し、安定期の寿命が来た蛍光灯をLED照明に変更

製造事務所 FL管40Wx2を6基、LED5200lmタイプに

定格98W（管が37Wなので実92W）×6＝実552W

変更後 31.8W×6＝190.8W 361.2Wの省エネ効果



全数検査場の蛍光灯のLED化を実施



発送工場 HF管からLEDへ 6基交換

1基当たり30W程度の効果

約各180Wの省エネ効果

第三工場 FL管から8基から HF管6基へ変更

2基の削減 約200Wの省エネ効果



社員・業者による草刈と樹木の伐採

5月 屋内禁煙に伴い屋外喫煙所の設置時に社員にて草刈の実施



8月 夏の連休前に社の外周の草刈の実施

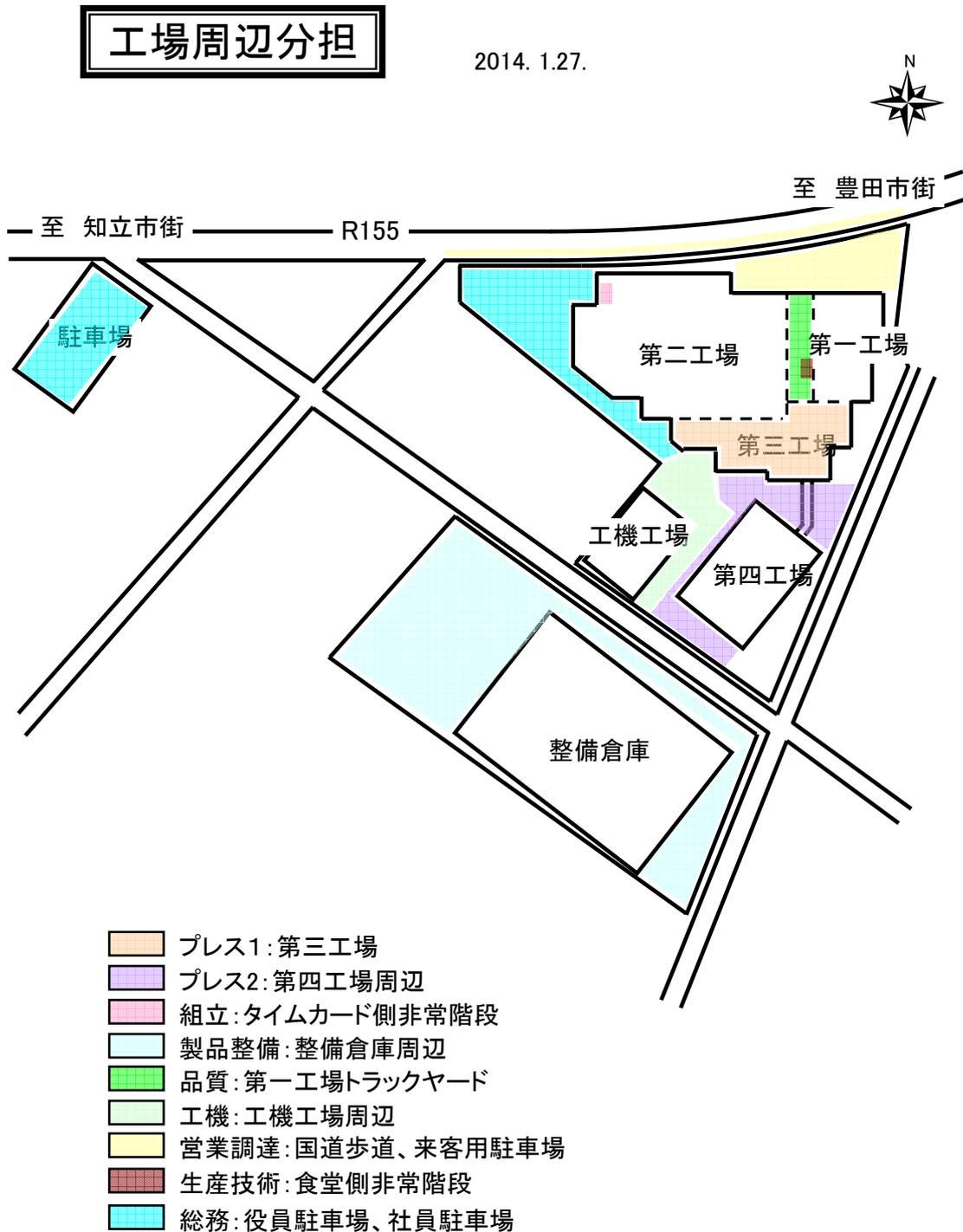


10月 発送工業西側の緑地帯の雑草の駆除



部署ごとに分担しての安全パトロールの実施

各部署内の安全パトロールと共に、下記の図に分担して、周辺のパトロールも実施している



7. 評価及び見直しの結果

刈鉾工業株式会社

環境目標とその達成状況

環境活動も数年続けたため劇的な効果は望めないとして目標を抑え気味にしたが、予想以上に効果をあげた項目と、マイナスになった項目に分かれた。

成果が上がらない所に潜む原因を次年度の活動につなげたい。

環境活動計画の実施状況

ハードによる部分は実施できており、目標も達成できているが、個人の行動や注意によってなされる部分については思うように活動ができていないと思われる。

環境関連法規の見直し、遵守状況

現在のところ、当社環境に関連する法規の改正を確認し対応しています。なお3年以上関係当局より違反等の指摘、訴訟事項等はありません。

外部からの苦情等の受付結果

外部からの苦情はありません

問題点の是正予防報告

指標が悪化している項目の活動に対して、全社への周知を再度行う・問題は現場で指導する等、細かい所からの底上げを図りたい。

利害関係者等の環境情報

特になし

2016年 2月 9日

刈鉾工業株式会社

環境管理責任者

取締役 副社長 江原 圭亮

8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに、訴訟の有無

当社に適用となる主な環境関連法規

法律名	遵守事項	遵守状況
公害防止組織の整備に関する法	公害防止統括者の選任 公害防止管理者の選任	遵守
騒音・振動規制法	特定施設の届出 規制基準の遵守	遵守
廃棄物処理法	マニフェストの発行・管理 産業廃棄物処理契約 産業廃棄物業者の確認 産業廃棄物の適正保管	遵守
浄化槽法	保守点検・定期点検の管理 浄化槽の保守点検と清掃	遵守
消防法	少量危険物貯蔵取扱の届出 貯蔵及び取扱に関する遵守事項	遵守
フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律 (フロン排出抑制法)	特定製品の整備・廃棄時のフロン回収・破壊 事業用エアコンの定期的な点検 簡易点検7.5kW未満・定期点検7.5kW以上	遵守
家電リサイクル法	特定家庭用機器再商品化	遵守
県民の生活環境の保全等に関する条例 豊田市環境を守り育てる条例	環境負荷の低減	遵守

環境関連法規の見直し、遵守状況

環境関連法規につきましては現在違反はありません

なお3年以上関係当局より違反等の指摘、訴訟事項等はありません。

外部からの苦情等の受付結果

外部からの苦情はありません

遵守評価日 2016年 2月 9日
 遵守評価者名 刈鋌工業株式会社
 環境管理責任者
 取締役 副社長 江原 圭亮

見直しに必要な情報			代表者による見直し																					
管理責任者の報告及び改善への提案			変更の必要性の有無・指示事項																					
<p>[取り組み状況の評価結果]</p> <p>①環境関連法規制等の遵守状況(環境法規・条例の対象一覧) ・現在のところ、当社環境に関連する法規の改正に対応しています。 なお3年以上関係当局より違反等の指摘、訴訟事項等はありません。</p> <p>②問題点の是正処置及び予防処置の状況 ・昨年実施できなかった避難訓練が実施でき、節水についても漏水箇所の補修を行った。</p> <p>④前回までの代表者の指示事項への対応 ・環境方針を改正しマンネリ化していた活動から新たな目標作成に向けスタートをきった。教育に関しても新たに教育時間を増やし、意識の向上に努めた。</p> <p><改善への提案> 指標が悪化している項目の活動に対して、全社への周知を再度行う・問題はその場で指導する等、細かい所からの底上げを図りたい。</p>			<p>[環境方針]</p> <p>変更の必要性: <input type="checkbox"/>有 <input checked="" type="checkbox"/>無</p>																					
<p>[目標・環境活動計画の達成状況] (詳細は環境活動計画書による)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目標項目</th> <th>状況</th> <th>達成状況の評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>電力の削減</td> <td>0.4%増</td> <td>現状維持は出来ている</td> </tr> <tr> <td>ガソリンの削減</td> <td>3.8%減</td> <td>現状維持が出来今年度の目標は達成</td> </tr> <tr> <td>一般焼却物</td> <td>増加傾向</td> <td>分別回収はある程度進んでいたが増加した</td> </tr> <tr> <td>産廃埋めるゴミ</td> <td>28.4%減</td> <td>分別回収がある程度進み目標達成</td> </tr> <tr> <td>節水</td> <td>大幅減</td> <td>漏水箇所の改修が出来目標達成</td> </tr> <tr> <td>化学物質使用量</td> <td>7.1%減</td> <td>現状維持が出来今年度の目標は達成</td> </tr> </tbody> </table> <p><改善への提案> 目標を抑え気味にしたが、予想以上に効果をあげた項目と、マイナスになった項目に分かれた。 成果が上がらない所に潜む原因を次年度の活動につなげたい。</p>			目標項目	状況	達成状況の評価	電力の削減	0.4%増	現状維持は出来ている	ガソリンの削減	3.8%減	現状維持が出来今年度の目標は達成	一般焼却物	増加傾向	分別回収はある程度進んでいたが増加した	産廃埋めるゴミ	28.4%減	分別回収がある程度進み目標達成	節水	大幅減	漏水箇所の改修が出来目標達成	化学物質使用量	7.1%減	現状維持が出来今年度の目標は達成	<p>[目標・活動計画]</p> <p>変更の必要性: <input type="checkbox"/>有 <input checked="" type="checkbox"/>無</p> <p>下記指示事項</p>
目標項目	状況	達成状況の評価																						
電力の削減	0.4%増	現状維持は出来ている																						
ガソリンの削減	3.8%減	現状維持が出来今年度の目標は達成																						
一般焼却物	増加傾向	分別回収はある程度進んでいたが増加した																						
産廃埋めるゴミ	28.4%減	分別回収がある程度進み目標達成																						
節水	大幅減	漏水箇所の改修が出来目標達成																						
化学物質使用量	7.1%減	現状維持が出来今年度の目標は達成																						
<p>[周囲の変化の状況]</p> <p>①外部コミュニケーション記録より 外部からの苦情はありません</p> <p>②環境関連法規制等の動向他 ・定期的チェックを実施</p> <p><改善への提案> 維持</p>			<p>[その他]</p> <p>変更の必要性: <input type="checkbox"/>有 <input checked="" type="checkbox"/>無</p>																					
<p>[総括]代表者による指示事項</p> <p>2015年に環境方針・活動計画をより具体的にし、目標の達成状況が良くなってきている。 引き続き「見える化」に取り組んで下さい。 毎年入社する新入社員教育に環境意識を持たせる指導をする。派遣社員に関しても環境教育を実施する。</p> <p style="text-align: center;">平成28年2月10日</p> <p style="text-align: right;">三ノ百一</p>																								